



NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION

証券コード: 5401

2013年度決算説明会

代表取締役副社長
太田 克彦
2014年5月9日



2014年4月20日に火入れした 八幡製鐵所 戸畑第4高炉(内容積:5,000m³)

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値

© 2014 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

1. 2013年度決算
2. 中期経営計画の進捗状況
3. ご参考

1. 2013年度決算

2013年度決算の概況

13年度需給環境

- 国内鋼材需要：製造業向けは、設備投資の回復・景況感の好転に伴い自動車等を中心に需要が増加
建設向けも復興需要継続や緊急経済対策に伴い、下期にかけて増加
- 国際市況：中国鉄鋼メーカーの高生産等に伴う鋼材需給の軟化が継続
なお、足元のアジア市況の動向については、底打ちの動きも見える

当社の取組み

- 粗鋼量^{*1}：12年度 4,355万t →13年度 4,567万t（対前年度：+212万t）
- 出荷量^{*1}：12年度 4,097万t →13年度 4,202万t（対前年度：+104万t）
- 中期経営計画で掲げた技術先進性の発揮、コスト競争力の強化、最適生産体制の構築、グループ会社の体質強化等の施策を着実に実行
- 米国アラバマ工場の取得・合併事業開始など、グローバル展開も順調に進展

決算概況

- 13年度通期の経常損益 3,610億円（対見通し^{*2}:+210億円）、当期損益 2,427億円（対見通し^{*2}:+ 227億円）
- 期末剰余金の配当方針は、3円/株。年間配当金は5円/株（連結配当性向18.7%）
- 14年度の業績予想は合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示

*1 単独ベース（日鉄住金鋼鉄和歌山含む） *2 前回公表（1/30）値

当社製鉄事業諸元

(単位:万ト)	FY12 年度	FY13							差異			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度 (前回見込) *4	FY12	FY13見	13/上	13/3Q
									→ FY13	→ FY13	→ 13/下	→ 13/4Q
出鉄量 *1	4,390	1,130	1,147	2,277	1,141	1,062	2,203	(4,510) 4,480	+91	-30	-74	-79
粗鋼生産量(連結) *2	4,603	1,213	1,214	2,427	1,226	1,163	2,389	(4,830) 4,816	+212	-14	-38	-62
粗鋼生産量(単独) *2	4,355	1,150	1,152	2,302	1,163	1,101	2,264	(4,580) 4,567	+212	-13	-38	-62
鋼材出荷量 *2	4,097	1,029	1,068	2,097	1,038	1,067	2,105	(4,210) 4,202	+104	-8	+8	+29
シームレス出荷量 *2	108	26	32	58	30	32	62	(120) 120	+12	-	+4	+2
鋼材平均価格 *3 (千円/ト)	80.1	82.5	86.3	84.4	86.7	88.4	87.6	(85) 86.0	+5.9	+1.0	+3.1	+1.7
鋼材輸出比率(%) *3 [金額ベース]	44	49	47	48	45	45	45	(46) 46	+1	+0	-3	+0
為替レート(¥/\$)	82	98	98	98	100	103	102	(99) 100	18円安	1円安	4円安	3円安

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み *2 FY12上期は旧両社合算ベース

*3 FY12上期迄は新日鉄・住金の加重平均

*4 前回公表(1/30)値

2013年度決算数値

(単位:億円)	*1 FY12 年度実績 (両社合算 ベース)	FY13							差異			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	(前回見込) *2 年度	FY12 → FY13	FY13見 → FY13	13/上 → 13/下	13/3Q → 13/4Q
売上高	50,835	12,868	13,877	26,745	13,629	14,786	28,415	(54,500) 55,161	+4,326	+661	+1,670	+1,157
営業損益	358	560	832	1,392	823	767	1,590	2,983	+2,625		+198	-56
経常損益	877	864	872	1,736	1,085	788	1,874	(3,400) 3,610	+2,733	+210	+138	-297
特別損益	-3,595	156	9	165	121	93	215	*3 380	+3,975		+50	-28
当期損益	-2,584	633	521	1,155	772	499	1,271	(2,200) 2,427	+5,011	+227	+116	-273
[一株当り 当期損益]		[7.0]	[5.7]	[12.7]	[8.5]	[5.5]	[14.0]	[26.7]			[+1.3]	[-3.0]
EBITDA		1,350	1,657	3,007	1,660	1,634	3,294	6,302			+287	-26
EBITDA / Sales		10.5%	11.9%	11.2%	12.2%	11.1%	11.6%	11.4%			+0.4	-1.1
ROS	1.7%	6.7%	6.3%	6.5%	8.0%	5.3%	6.6%	(6.2%) 6.5%	+4.8	+0.3	+0.1	-2.7
ROE		10.5%	8.4%	9.4%	12.0%	7.5%	9.8%	9.6%				

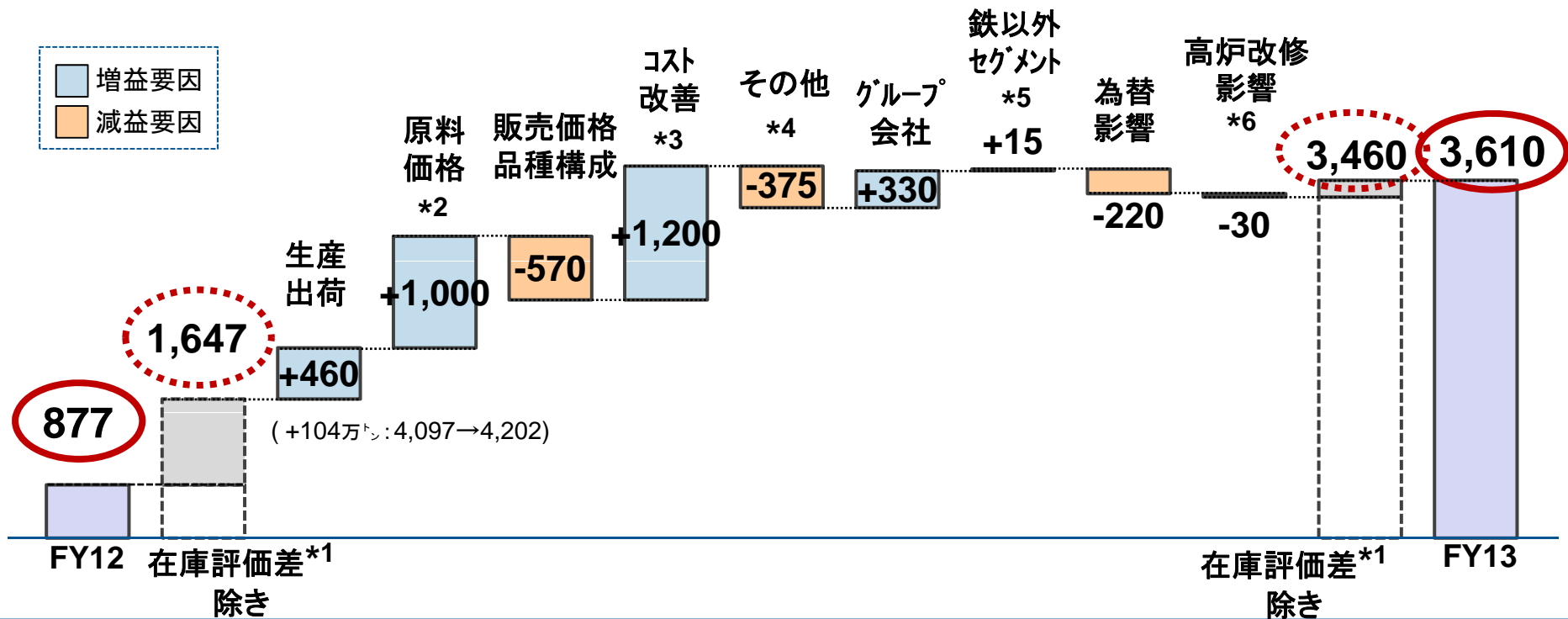
*3 特別損失内訳	1Q	2Q	3Q	4Q	計
投資有価証券売却損益	156	155	134	120	566
設備休止関連損失	-	-145	-13	-26	-186
合計	156	9	121	93	380

*1 FY12上期は旧両社合算ベース *2 前回公表(1/30)値

経常損益分析 (12年度→13年度)

(単位:億円)	FY12* [A]	FY13 [B]	増減 [A→B]
経常損益	877	3,610	+2,733
製鉄	509	3,212	+2,703
鉄以外セグメント	406	419	+13
調整額	-38	-21	+17

- *1 在庫評価差
FY12:-770 → FY13:+150
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+300含む
- *4 賞与単価アップ、名古屋停電影響他
- *5 エンジニアリング-4、化学+3、
新素材+4、システムソリューション+11
- *6 FY12君津第2高炉改修コスト影響-70 →
FY13八幡第4高炉改修コスト影響-100



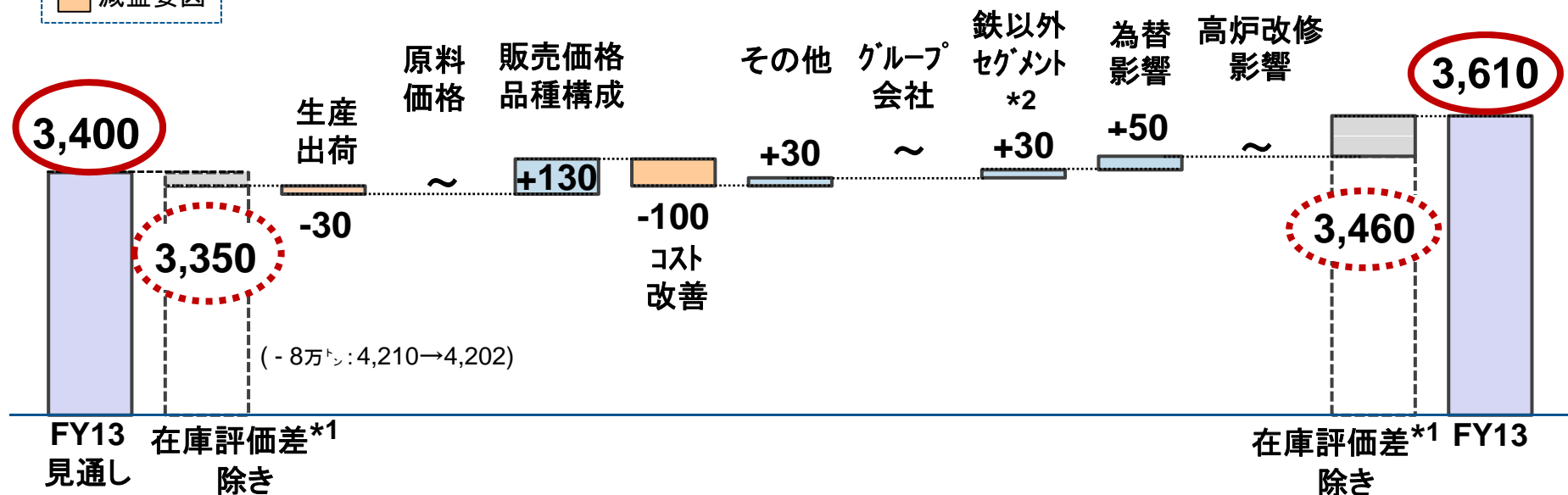
* FY12: 旧両社合算ベース

経常損益分析 (13年度見通し→13年度実績)

(単位:億円)	年度見通し (前回1/30) [A]	年度実績 [B]	増減 [A→B]
経常損益	3,400	3,610	+210
製鉄	3,050	3,212	+162
鉄以外セグメント	390	419	+29
調整額	-40	-21	+19

- *1 在庫評価差
FY13見:+50→FY13:+150
- *2 エンジニアリング+27、化学～
新素材+3、システムソリューション-3

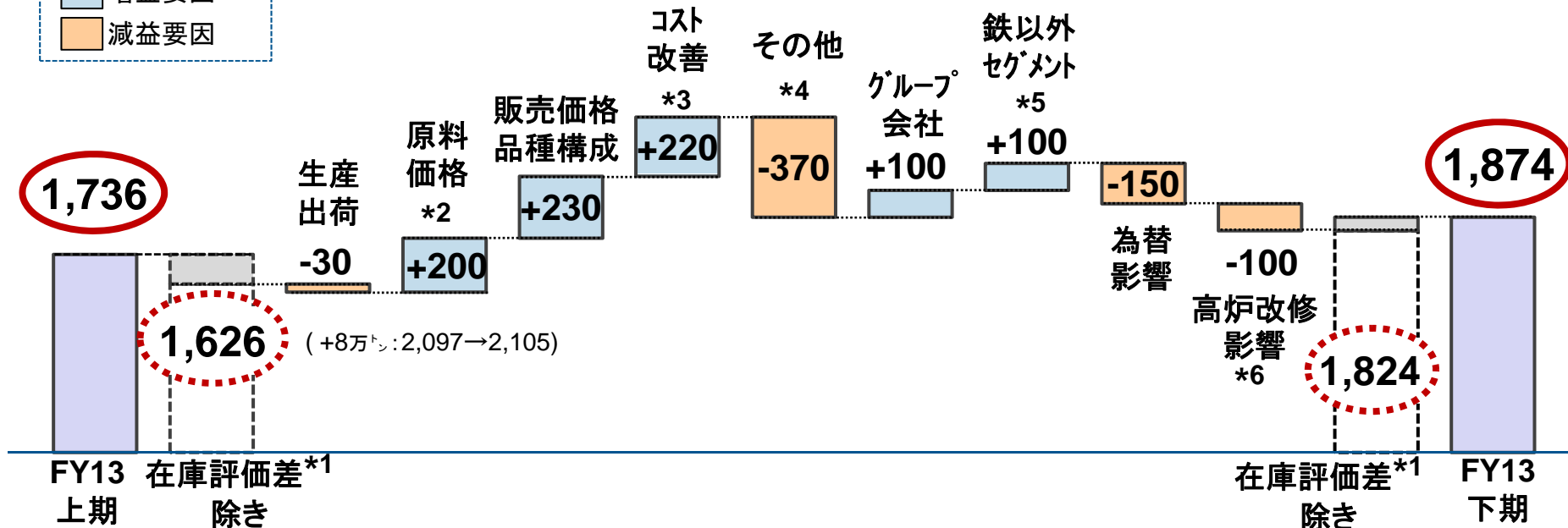
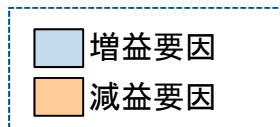
■ 増益要因
■ 減益要因



経常損益分析 (13/上期→13/下期)

(単位:億円)	FY13上期 [A]	FY13下期 [B]	増減 [A→B]
経常損益	1,736	1,874	+138
製鉄	1,582	1,630	+48
鉄以外セグメント	161	257	+96
調整額	-7	-13	-6

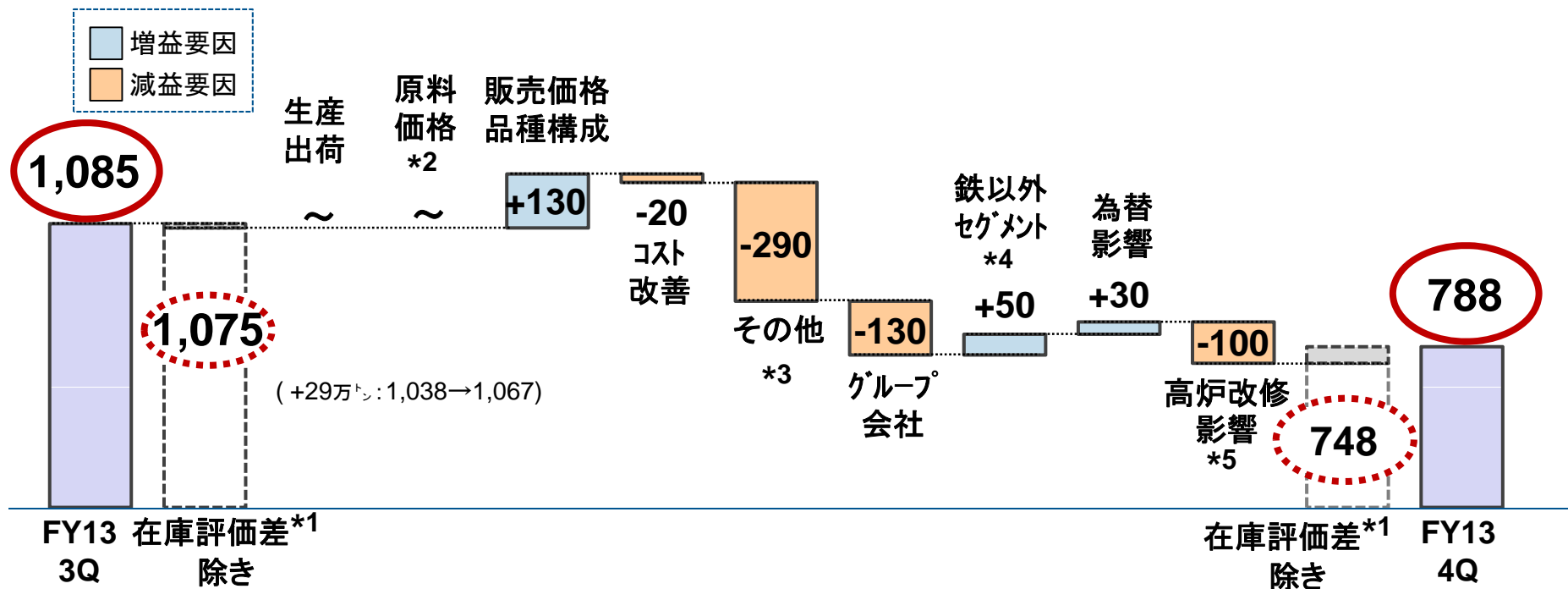
- *1 在庫評価差
FY13/上:+110 → FY13/下:+50
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+60含む
- *4 償却費、賞与単価アップ、名古屋停電影響他
- *5 エンジニアリング+104(季節差)、化学-40、
新素材+1、システムソリューション+31
- *6 八幡第4高炉改修コスト影響-100



経常損益分析 (13/3Q→13/4Q)

(単位:億円)	FY13/3Q [A]	FY13/4Q [B]	増減 [A→B]
経常損益	1,085	788	-297
製鉄	975	655	-320
鉄以外セグメント	103	153	+50
調整額	6	-20	-26

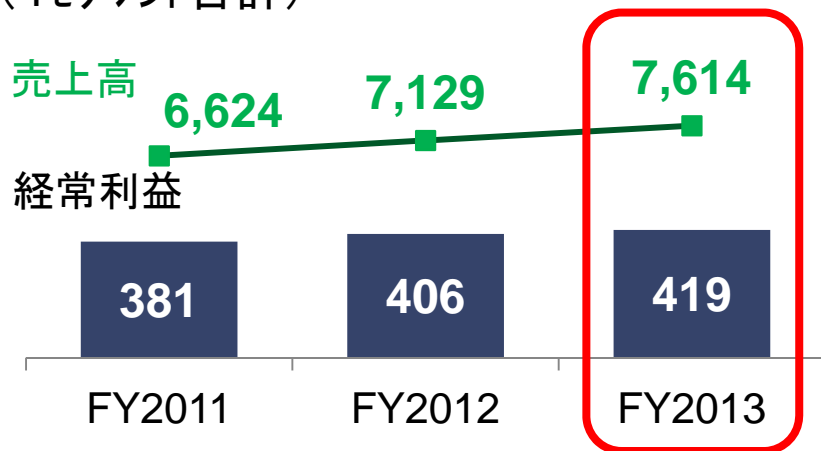
- *1 在庫評価差
FY13/3Q:+10→FY13/4Q:+40
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 除却解体費、名古屋停電影響他
- *4 エンジニアリング+61(季節差)、化学-30
新素材-8、システムソリューション+28
- *5 八幡第4高炉改修コスト影響-100



製鉄以外セグメント概況

売上高・経常利益推移 (4セグメント合計)

(単位:億円)





経常損益動向 (前年度対比)

エンジニアリング事業	横這い	:コスト削減・収益改善努力、円安影響 他
化学事業	増益	:化学品事業マージン改善、機能材料事業の有機ELの損益改善 他
システムソリューション事業	増益	:業務・基盤ソリューション分野で売上増、売上高総利益率の改善
新素材事業	増益	:ワイヤ市場で競争激化も、全社的なコスト改善努力を推進 他

(単位:億円)

エンジニアリング事業		2011	2012	2013
	売上高	2,489	3,030	3,141
	経常利益	127	181	177

化学事業		2011	2012	2013
	売上高	1,976	1,957	2,301
	経常利益	135	97	100

システムソリューション事業		2011	2012	2013
	売上高	1,615	1,719	1,798
	経常利益	112	116	127

新素材事業		2011	2012	2013
	売上高	542	422	372
	経常利益	6	9	13



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

バランスシート、キャッシュ・フロー

バランスシート

(兆円) 13/3

流動資産 2.1	その他負債 1.7
固定資産 4.9	有利子負債 2.5
	自己資本 2.3
	0.5

少数株主持分

14/3

流動資産 2.2	その他負債 1.7
固定資産 4.8	有利子負債 2.2
	自己資本 2.6
	0.5

少数株主持分

	13/3	14/3	増減
総資産 (兆円)	7.0	7.0	-0
有利子負債 (億円)	25,430	22,963	-2,467
D/Eレシオ(倍)	1.06	0.86	-0.21
現金同等物 (億円)	905	1,054	+149

キャッシュ・フロー

(億円)

税金等調整前利益	3,991
減価償却費	3,318
持分法	-627
支払税	-568
設備投資	-3,194
投融資	-447
資産圧縮対策	2,300
ワーキングキャピタル 他	-994

フリーキャッシュ・フロー 3,779

借入金等返済・調達	-2,392
支払配当	-273
その他	-965

現金同等物増減 +149

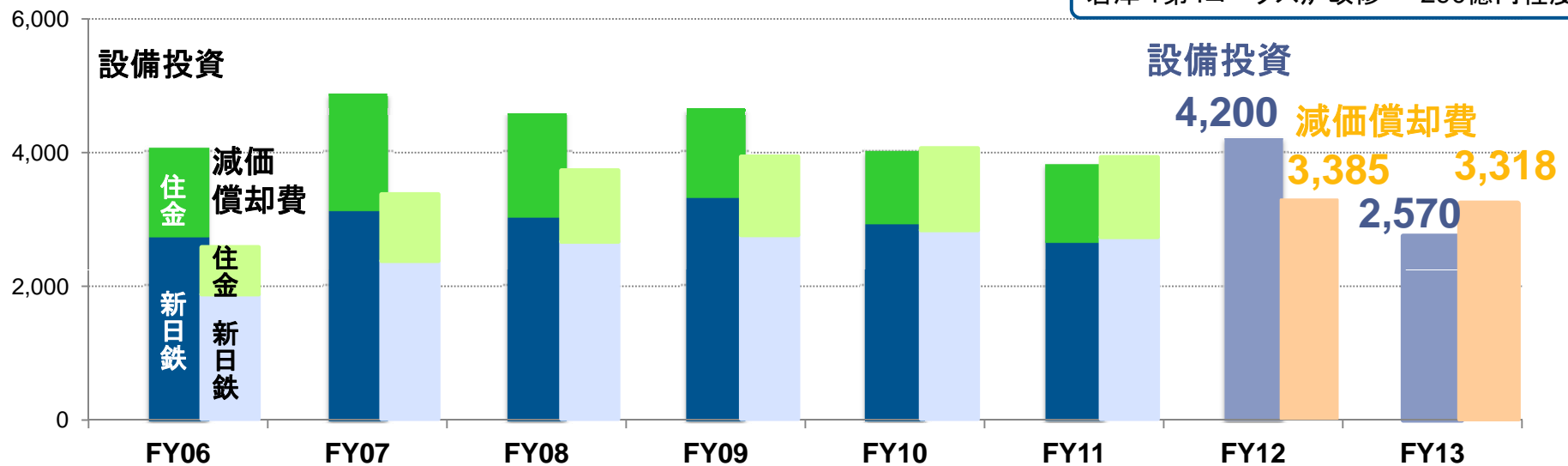
設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鐵 下段:住金)	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13
設備投資額 <工事ベース>	4,050 (2,700) (1,358)	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,570
減価償却費	2,647 (1,925) (722)	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,318

新規設備投資案件

君津 : 第4コークス炉改修 290億円程度



※ 設備投資額 : FY07~12の新日鐵住金は、新日鐵と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

当期末の剰余金の配当につきましては、既公表の配当方針に基づき、第3四半期決算発表時(2014.1.30)に公表しましたとおり、1株につき3円(年間配当金としては1株につき5円、連結配当性向18.7%)として定時株主総会にご提案させていただく予定です。

< 利益配分に関する基本方針 >

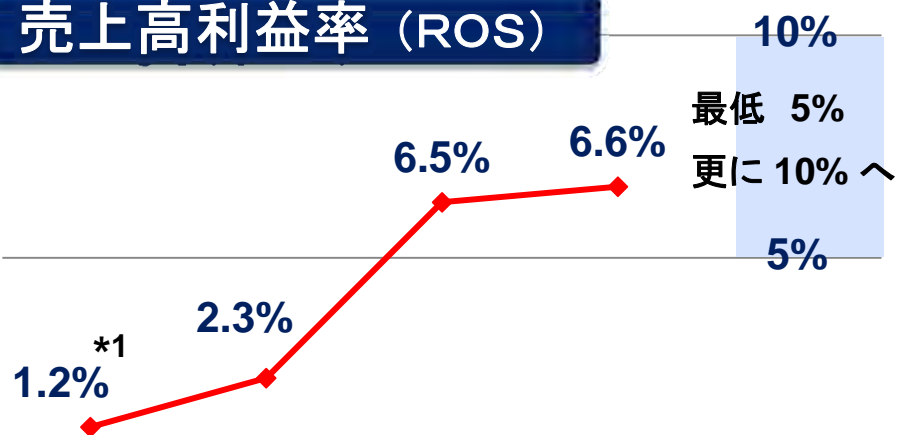
当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準としております。

2. 中期経営計画の進捗状況

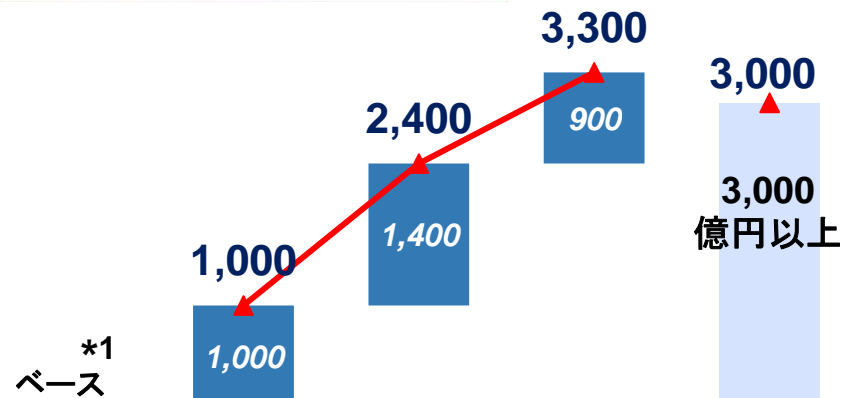
① 定量的指標の推移

売上高利益率 (ROS)



上期	下期	上期	下期	目標
12年度		13年度		

資産圧縮 【億円】



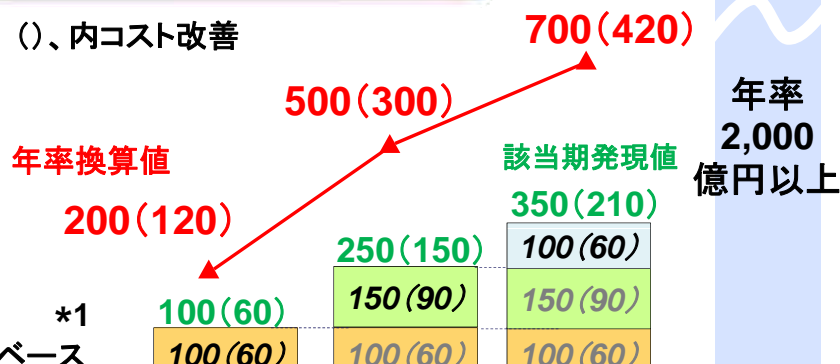
上期	下期	上期	下期	目標
12年度		13年度		

D/Eレシオ



上期	下期	上期	下期	目標
12年度		13年度		

統合効果 【億円】



上期	下期	上期	下期	目標
12年度		13年度		

*1 FY12上期：旧両社合算ベース *2 FY12/3Q末実績

市村産業賞・貢献賞



写真提供:九州旅客鉄道株

振動制御装置アクティブサスペンションの開発

全国発明表彰・
21世紀発明賞



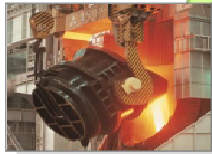
省資源型高強度電磁鋼板の発明

2013 THOMSON REUTERS
TOP 100
GLOBAL INNOVATORS

Top 100 グローバル・イノベーター 2013

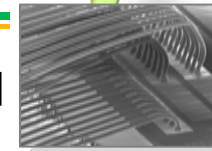
「世界で最も革新的な企業トップ100社」
に2年連続で選出

ものづくり
日本大賞・
特別賞



高品質・高効率・低環境負荷の
新製鋼プロセスの開発(SRP-Z)

全国発明表彰・
特許庁長官賞



新型高機能銅ボンディングワイヤの発明

MP's 2014
Corrosion Innovation
Award of the Year

高合金油井管が過酷な天然ガス開発へ貢献



文部科学大臣表彰・
科学技術賞 (2年連続ダブル受賞)

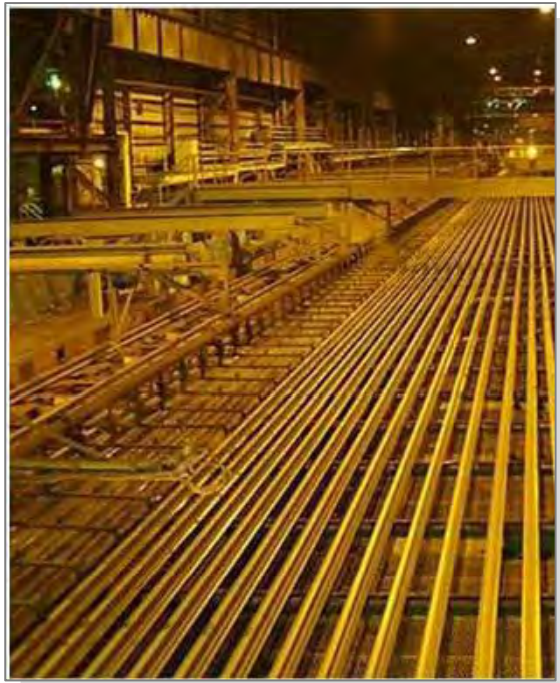
廃プラスチックの再資源化技術の開発 他 3件



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

世界最長 鉄道用 150mレールの製造・出荷体制を整備



圧延直後の150mレール



150mレール取扱の様子



専用貨車・専用船
で出荷

- レール溶接数削減等による線路保守作業の軽減
- より一層の軌道安定化に貢献

ASEAN地域の家電・建材薄板ニーズへの対応力を強化

NS Blue Scope (Thailand) にてスーパーダイマ®を現地生産化

◆当社グループ初のスーパーダイマ®の海外生産



第2溶融亜鉛めっきライン（今回の改造対象設備）

- 投資額：約 33百万豪ドル（約30億円）
- 投資内容：既存の第2溶融亜鉛めっきラインを改造
- 生産開始時期：2015年3Q（予定）

スーパーダイマ®

- 当社が特許を有する高耐食性めっき鋼板
- 主な適用例（イメージ）
 - 白物家電：
冷蔵庫、洗濯機、エアコン室外機 等
 - 建築部材：梁、トラス、デッキ 等

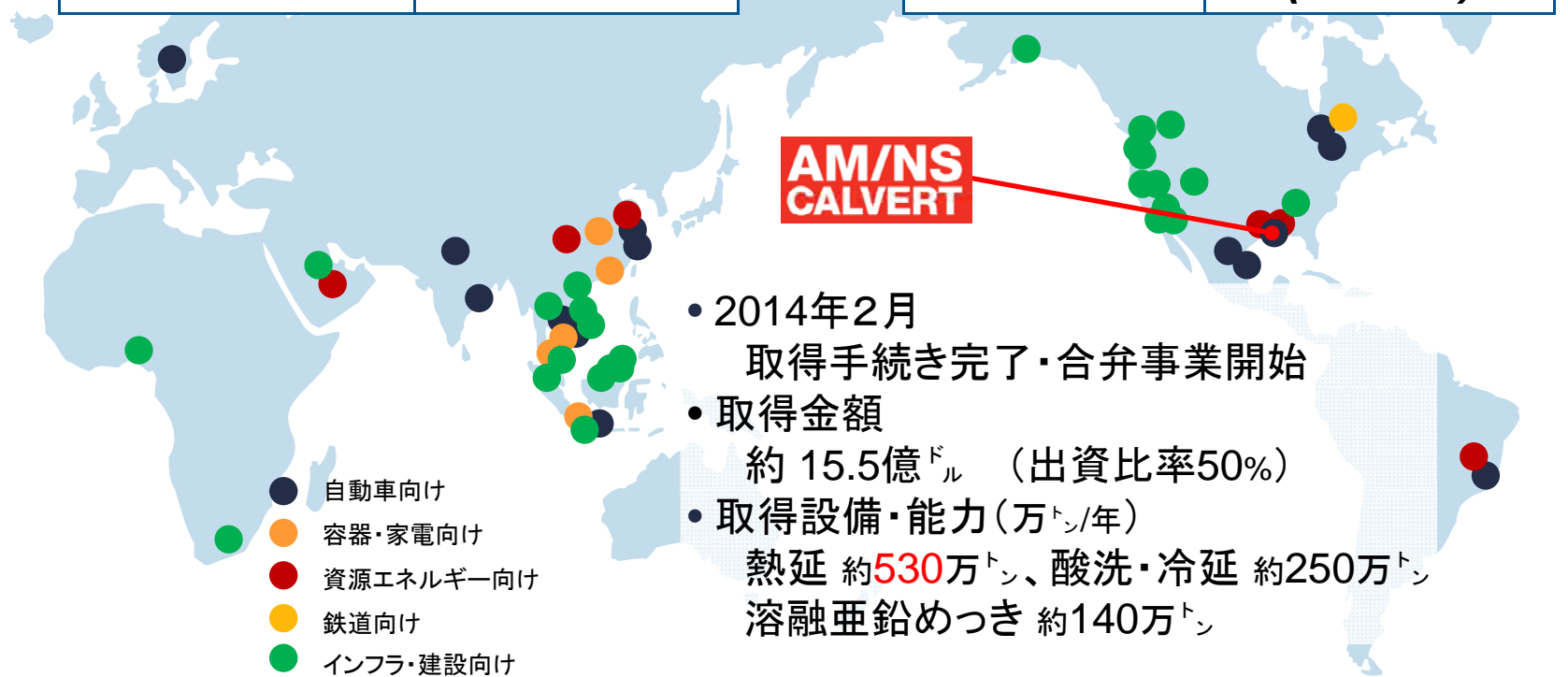
NS Blue Scope

- 事業内容：
溶融亜鉛めっき鋼板、塗装鋼板、建材薄板加工製品の製造・販売
- 主要設備：
冷延能力：約 80万ト/年、めっき能力：約 140万ト/年
塗装能力：約 50万ト/年
- 事業拠点等：7ヶ国（東南ア^{*1}・米）、30拠点

*1 東南アジア：タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、シンガポール、ブルネイ











順調に各拠点で営業運転開始、成長地域・分野での生産・販売体制を強化

	'13/3E時点		'14/3E時点	増減
主要な海外JV 生産能力*1	約 900万トン	➔	約 1,900万トン	+約 1,000万トン (+110%)



*1 当社の持分比率反映前
伯・ウジミナス社(高炉一貫製鉄所)除き

④ 主要な海外事業投資の進捗

%: NSSMC出資比率		投資額	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	 AM/NS Calvert 50% (アメリカ) (ArcelorMittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万トン/年 -熱延	★ 14/2		
	 TENIGAL 49% (メキシコ) (Ternium とのJV)	約 300百万\$	CGL	40万トン/年	★ 13/8		
	 JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万トン/年		★ 14/5	
	 NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万トン/年	★ 13/10		
	 BNA 50% (中国) (宝鋼とのJV)	約 11億元	No4 CGL 新設	42万トン/年	CGL能力 (125万トン→167万トン)		★ FY15稼働開始
	 ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
建材薄板	 NSBS 50% (シンガポール他) (BlueScopeとのJV)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万トン/年 -CGL	★ 13/3 JV設立		
	 CSVC 30% (ベトナム) (CSC とのJV)	1,150百万\$ (JV合計額)	CDCM	120万トン/年	★ 13/4~		
ブリキ	 WINSteel 50% (中国) (武鋼 とのJV)	約 230億円	ブリキ ライン等	80万トン/年	★ 13/9~		
鋼管	 VSB 40% (ブラジル) (Vallourec とのJV)	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万トン/年 -SML	立ち上げ中		

事業基盤強化に向け、最適生産・業務運営体制の構築を推進中

◆設備休止等スケジュール

品種	製鉄所	休止/ 稼働延期	ライン	FY13	FY14	FY15
上工程	君津	休止	第3高炉	4Q		
			第5連铸機	上期		
	和歌山	稼働延期	第2高炉			
薄板	鹿島	休止	No.2 酸洗、No.1 冷延、No.1 連続焼鈍、バッチ焼鈍、No.1 溶融亜鉛めっき、No.2 電気亜鉛めっき	4Q		
	和歌山	休止	No.3 酸洗、No.1 冷延、溶融めっき、連続焼鈍(電磁鋼板)	1Q		
	名古屋	休止	No.4 溶融亜鉛めっき	1Q 完了		
			電気亜鉛めっき	4Q		
	君津	休止	No.1 連続焼鈍	4Q		
鋼管	君津	休止	鍛接鋼管	4Q 完了		

3. ご参考

世界の経済成長率推移

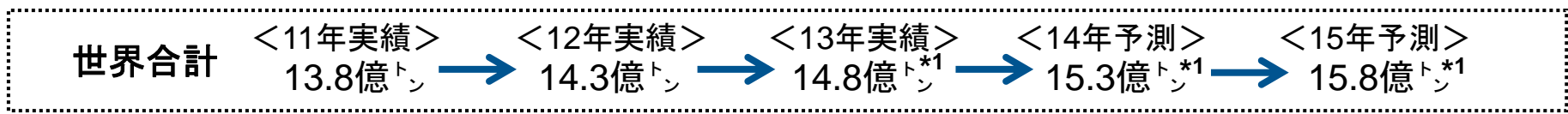
<2014年4月3日IMF改定値>

前回(2014.1.21)

	CY07	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14 見通し	CY15 見通し
世界合計	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.2	(3.0) 3.0	(3.7) 3.6	(3.9) 3.9
先進諸国	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.4	(1.3) 1.3	(2.2) 2.2	(2.3) 2.3
米国	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.8	(1.9) 1.9	(2.8) 2.8	(3.0) 3.0
欧州	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	(-0.4) -0.5	(1.0) 1.2	(1.4) 1.5
日本	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.4	(1.7) 1.5	(1.7) 1.4	(1.0) 1.0
新興諸国	8.3	6.1	2.7	7.5	6.2	5.0	(4.7) 4.7	(5.1) 4.9	(5.4) 5.3
中国	13.0	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	(7.7) 7.7	(7.5) 7.5	(7.3) 7.3
インド	9.4	7.3	6.8	10.6	6.3	4.7	(4.4) 4.4	(5.4) 5.4	(6.4) 6.4
ASEAN5^{*1}	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	(5.0) 5.2	(5.1) 4.9	(5.6) 5.4
ロシア	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	(1.5) 1.3	(2.0) 1.3	(2.5) 2.3
ブラジル	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	(2.3) 2.3	(2.3) 1.8	(2.8) 2.7

(出所: IMF) *1 ASEAN 5: タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

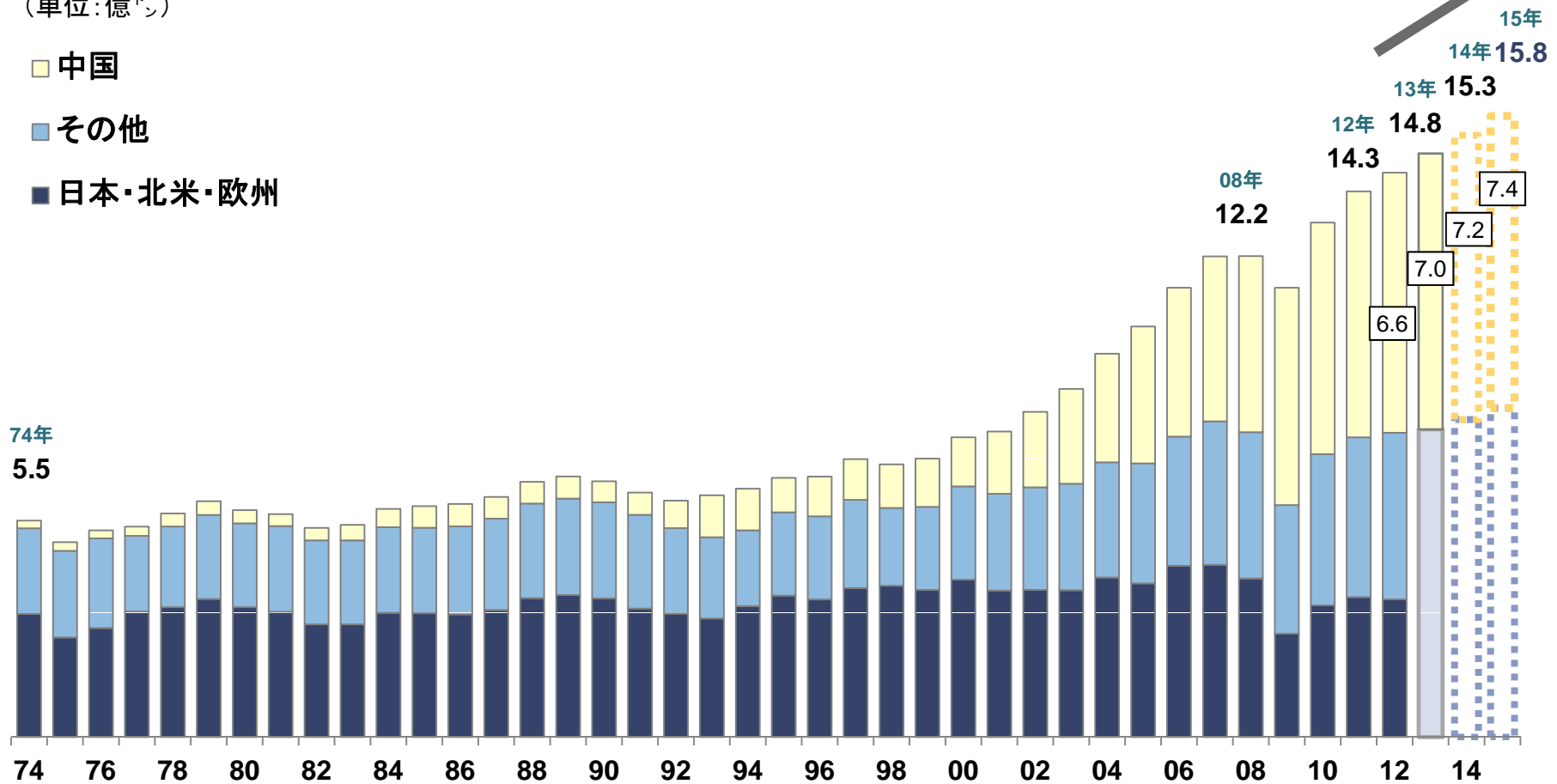
世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)



(単位: 億トン)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州

'13年以降 約 **+3** %/年



(出所: World Steel Association) *1 13年実績、14~15年予測(14年4月WSA発表)

世界月別粗鋼生産量

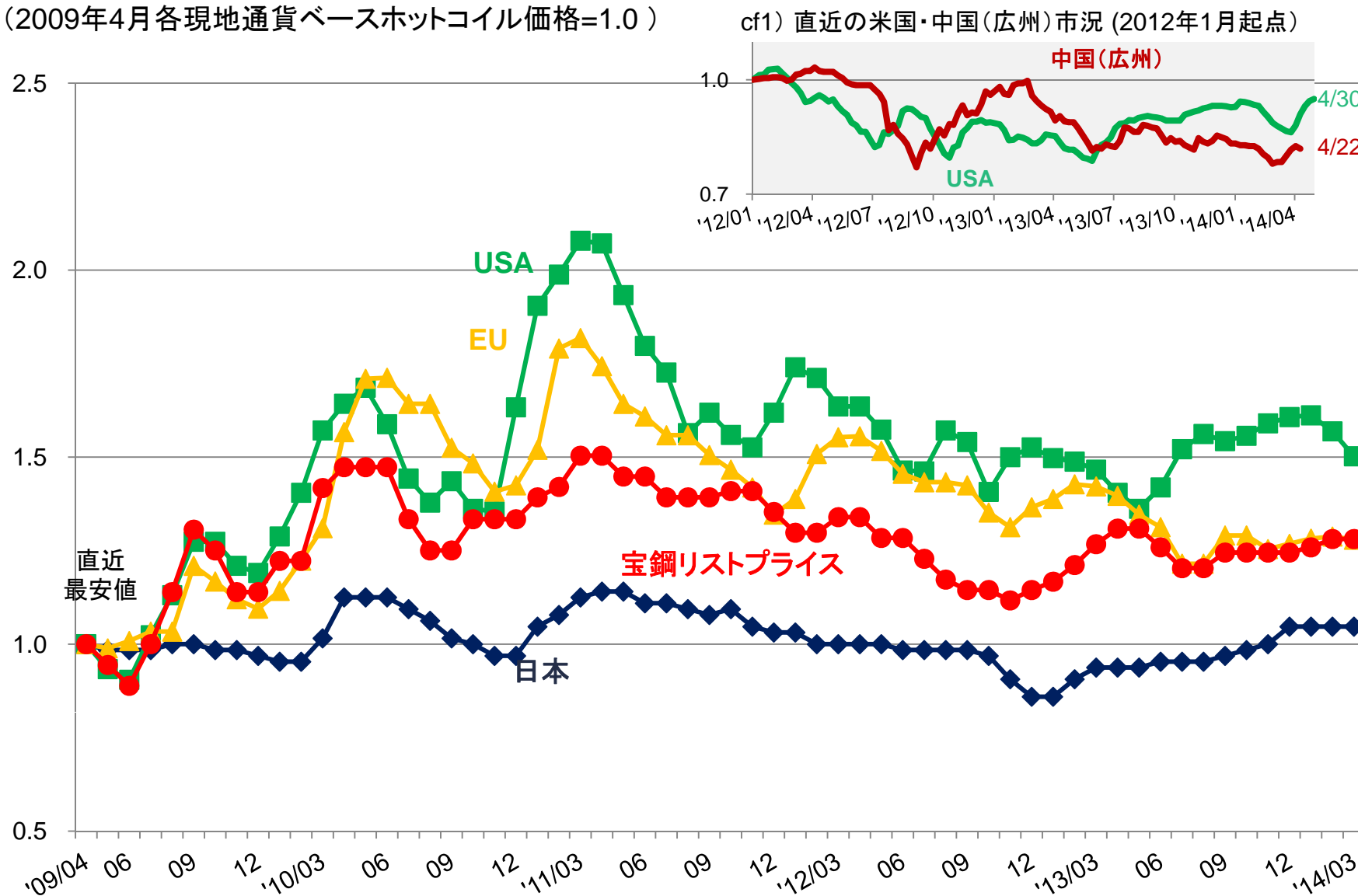
(百万トン)	CY13					CY14				差異 (A → B)
	10	11	12	10-12 [A]		1	2	3	1-3 [B]	
	世界計^{*1} (前年同期比)	134.3 (+7.1%)	128.1 (+5.0%)	133.6 (+9.3%)		396.0 (+7.1%)	1,582.5 (+4.0%)	136.8 (+5.0%)	125.9 (+1.3%)	
日本 (前年同期比)	9.5 (+7.8%)	9.3 (+9.0%)	9.3 (+9.0%)	28.1 (+8.6%)	110.6 (+3.1%)	9.4 (+6.0%)	8.4 (+1.5%)	9.7 (+2.9%)	27.6 (+3.5%)	-0.6
韓国 (前年同期比)	5.9 (+4.7%)	5.6 (-0.3%)	5.9 (+1.6%)	17.3 (+2.0%)	66.0 (-4.4%)	6.0 (+1.9%)	5.3 (+6.1%)	6.1 (+8.1%)	17.4 (+5.3%)	+0.1
米国	7.4	7.1	7.2	21.7	87.0	7.3	6.8	7.4	21.5	-0.1
EU28	14.7	14.3	13.1	42.1	165.8	14.6	13.9	15.4	43.8	+1.7
ロシア	5.9	5.7	5.8	17.4	69.4	5.8	5.4	6.0	17.2	-0.2
ブラジル	3.0	2.7	2.7	8.3	34.2	2.7	2.6	2.9	8.2	-0.1
インド	6.7	6.7	6.9	20.3	81.2	7.0	6.5	7.3	20.8	+0.5
中国 (前年同期比)	65.1 (+10.1%)	60.9 (+5.9%)	66.9 (+12.8%)	192.8 (+9.7%)	779.1 (+8.7%)	68.7 (+8.0%)	62.1 (+0.4%)	71.9 (+8.4%)	202.7 (+5.7%)	+9.8

(出所 : World Steel Association)

*1 世界65カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内主要需要分野の活動水準推移

	FY12 年度	FY13					年度	FY14			差異		
		上期	3Q	4Q	下期	1Q 見通し		2Q 見通し	*2 上期 見通し	13/上	FY12	13/下	
										→	→	→	
建設	住宅着工戸数 (万戸)	89	50	27	22	49	99	20	22	42	-1	+9	-7
	非住宅着工 (万㎡)	5,203	2,915	1,389	1,323	2,711	5,626	1,456	1,482	2,938	-203	+423	+227
	公共工事受注 *1 (10億円)	6,802	4,042	1,923	1,749	3,673	7,715	1,580	1,982	3,562	-370	+913	-111
自動車	完成車生産台数 (万台)	955	474	250	266	517	991	241	249	490	+42	+36	-27
	完成車輸出台数 (万台)	466	235	120	108	228	463	124	129	253	-7	-3	+25
	海外生産(8社) (万台)	1,531	790	427	419	846	1,637				+55	+105	
産業機械	大中型ショベル (千台)	71	38	21	18	39	77	17	18	34	+0	+6	-4
	金属工作機械 (千ト)	395	155	81	92	173	328	79	89	169	+19	-67	-5
造船	新造船起工 (当社推定) (万グロスト)	1,335	599	315	330	645	1,244	330	330	660	+46	-91	+15

リグカウントの状況	CY08平均	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	CY13平均	直近	
米国	1,879	1,089	1,546	1,875	1,919	1,761	1,854	(14/5/2)
深井戸(≥15,000ft)	283	249	249	395	324	326	347	(14/3)
北米・露・中を除く世界	1,079	997	1,094	1,167	1,234	1,296	1,345	(14/3)

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額 *2 5月上旬見込み値

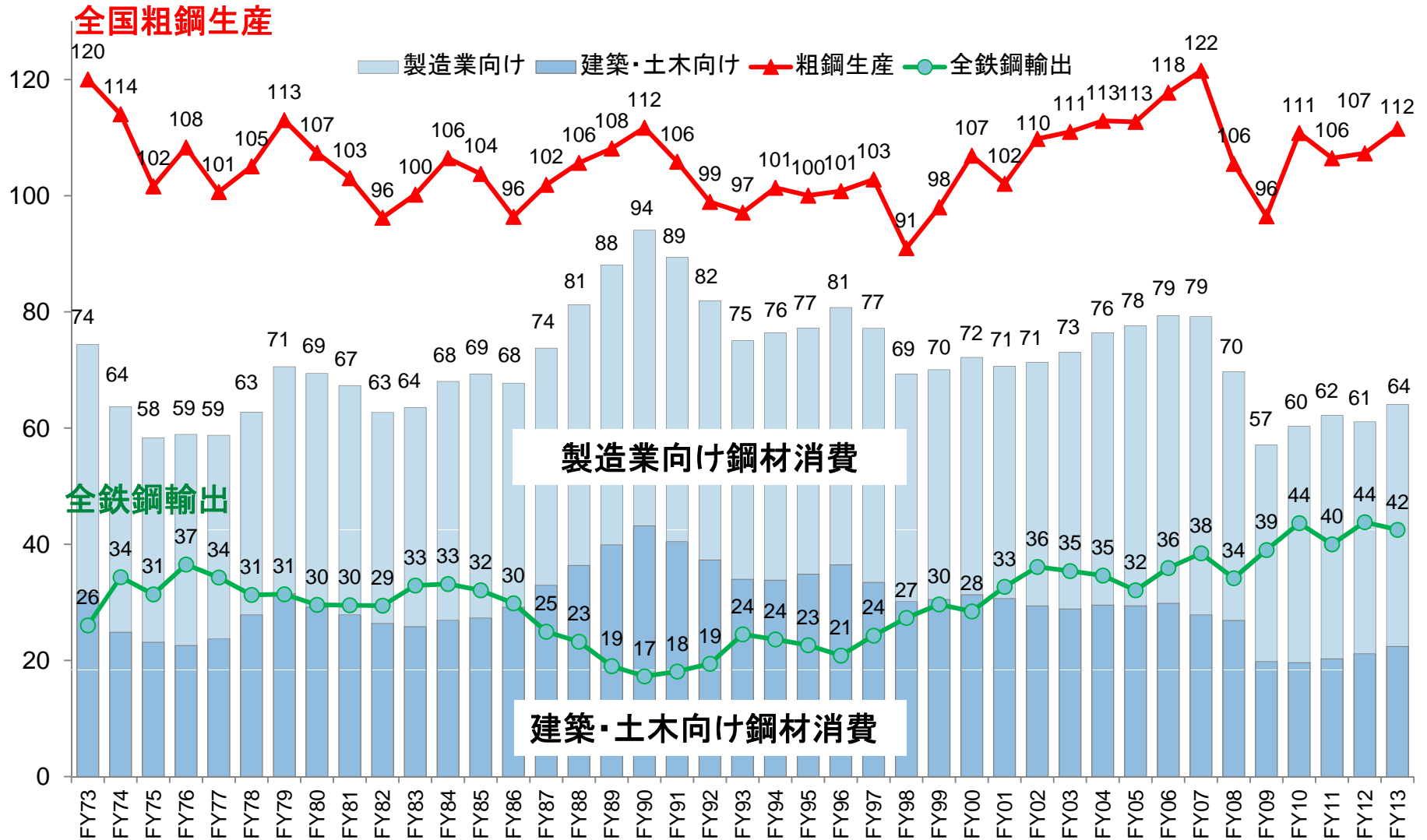
国内主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万トン)	FY12 年度	FY13					FY14			差異		
		上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q 見通し	2Q*1 見通し	上期 見通し	13/上 → 13/下	FY12 → FY13	13/下 → 14/上見
全国粗鋼生産量	10,730	5,580	2,814	2,758	5,571	11,151	2,770			-8	+421	
国内鋼材消費	6,142	3,154	1,649	1,594	3,244	6,398	1,543	1,594	3,137	+90	+256	-107
製造業比率 (%)	64.2	63.0	62.5	63.6	63.0	63.0	64.1	63.3	63.7	-	-1.2	+0.7
普通鋼鋼材消費	4,895	2,502	1,319	1,271	2,590	5,092	1,221	1,266	2,487	+88	+197	-103
建設	2,082	1,105	587	551	1,139	2,244	525	553	1,078	+34	+162	-61
製造業	2,812	1,396	731	720	1,451	2,848	696	713	1,409	+55	+36	-42
ウチ、造船	435	196	102	107	209	405	107	108	215	+13	-30	+6
ウチ、自動車	1,114	564	294	296	590	1,154	288	291	578	+26	+40	-12
ウチ、産業機械	469	243	127	118	245	488	114	122	236	+2	+19	-9
ウチ、電機機械	302	154	81	78	159	313	73	79	151	+5	+11	-8
特殊鋼鋼材消費	1,247	652	331	323	654	1,306	322	328	650	+2	+59	-4
鋼材輸入	592	277	176	171	347	624				+70	+32	
鋼材輸出	3,982	2,028	942	970	1,912	3,940				-116	-42	

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 5月上旬見込み値

国内鋼材消費推移

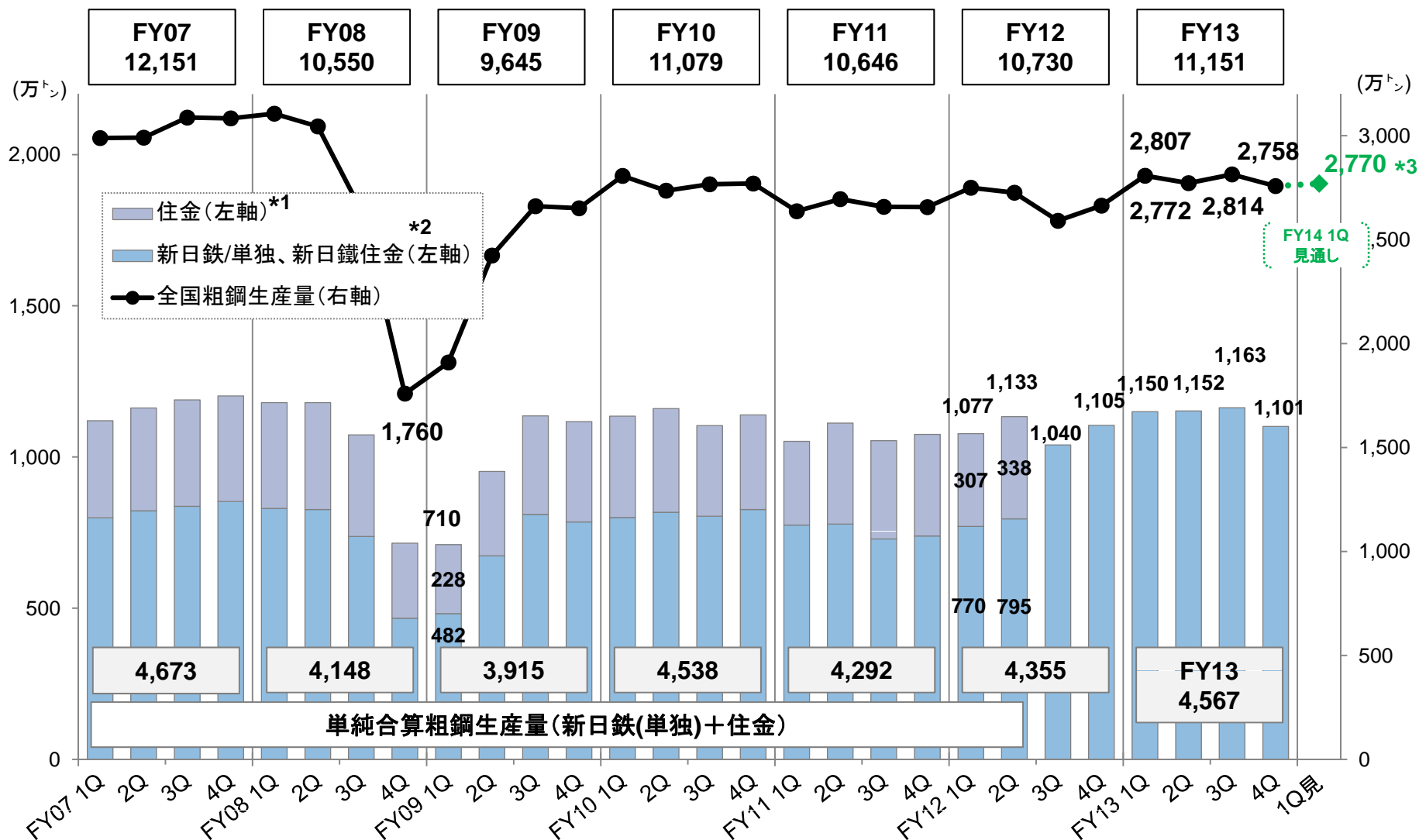
(百万トン)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量



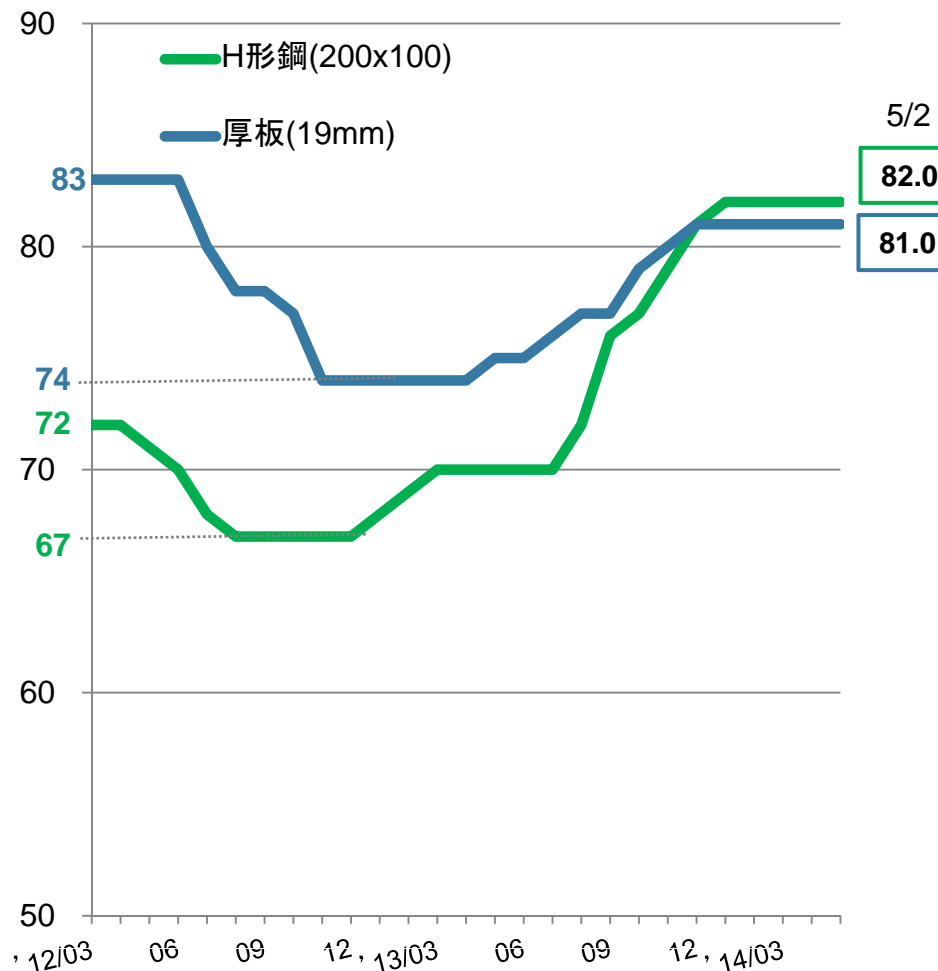
*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み *2 新日鉄住金: 日鉄住金鋼鉄和歌山含み

*3 経済産業省発表 FY14 1Q鋼材生産計画集計結果 (2014/5/8)

© 2014 NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL CORPORATION All Rights Reserved.

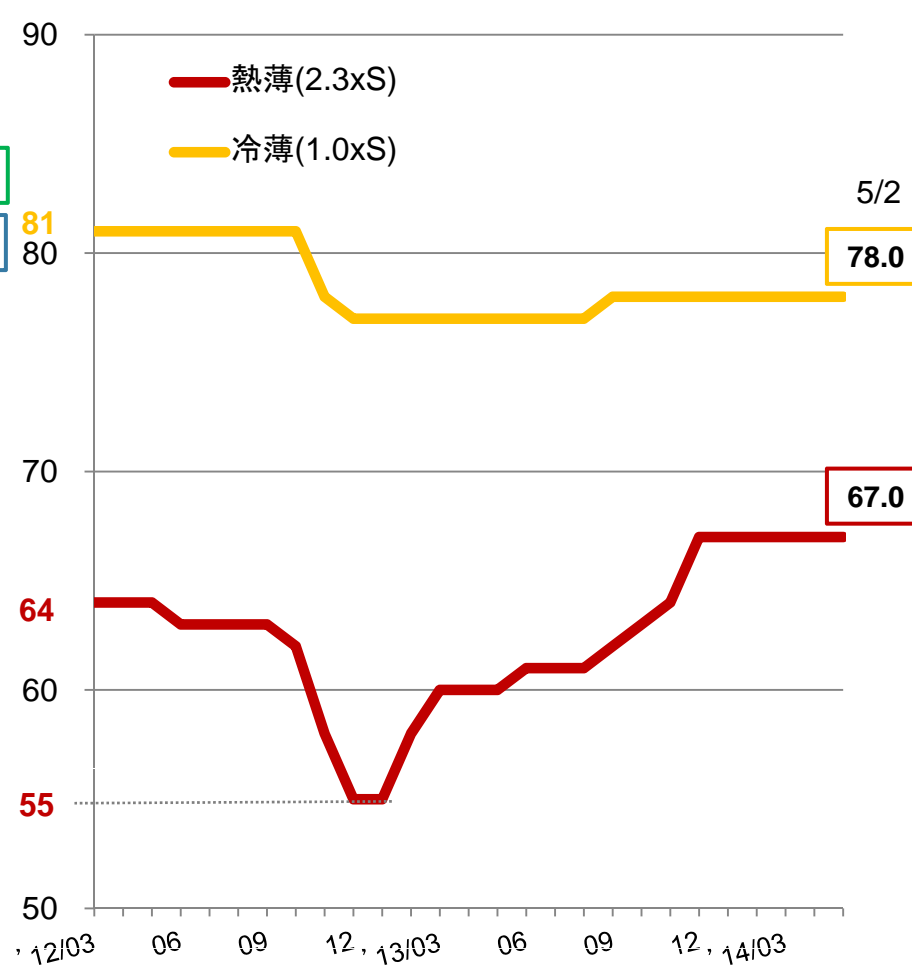
厚板・H形鋼

(千円/トン)



熱延・冷延

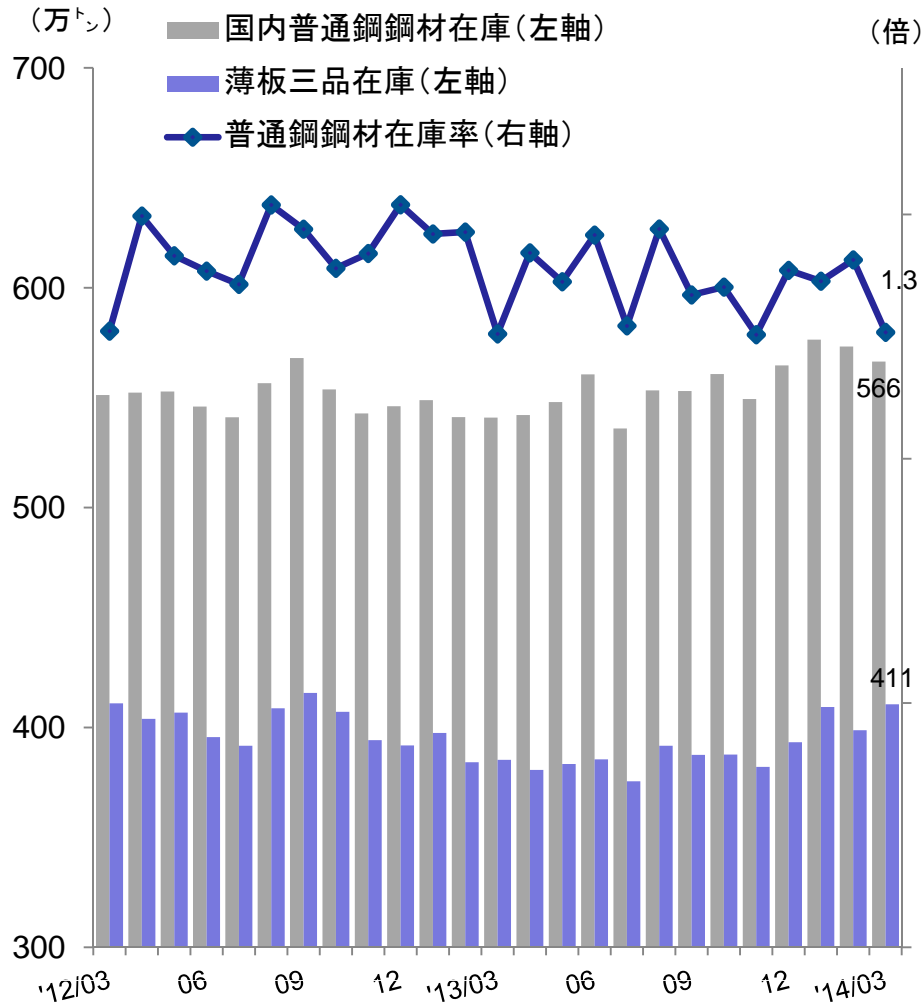
(千円/トン)



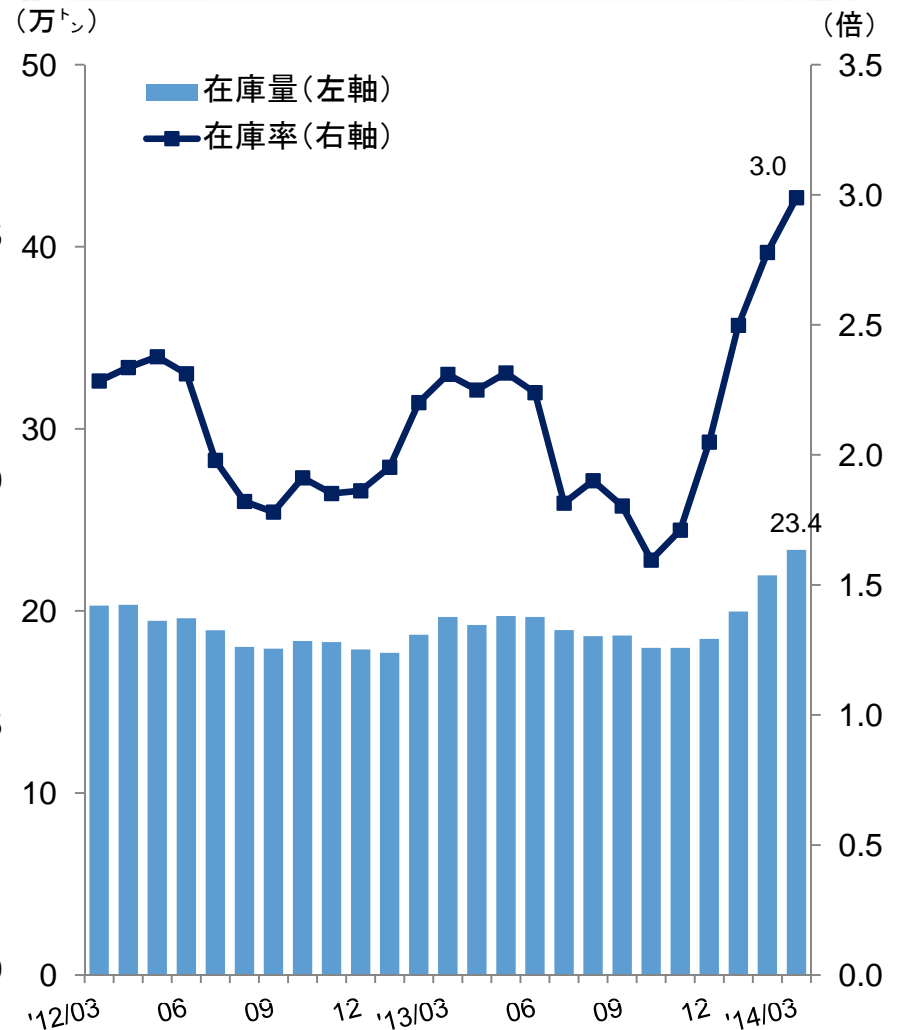
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫

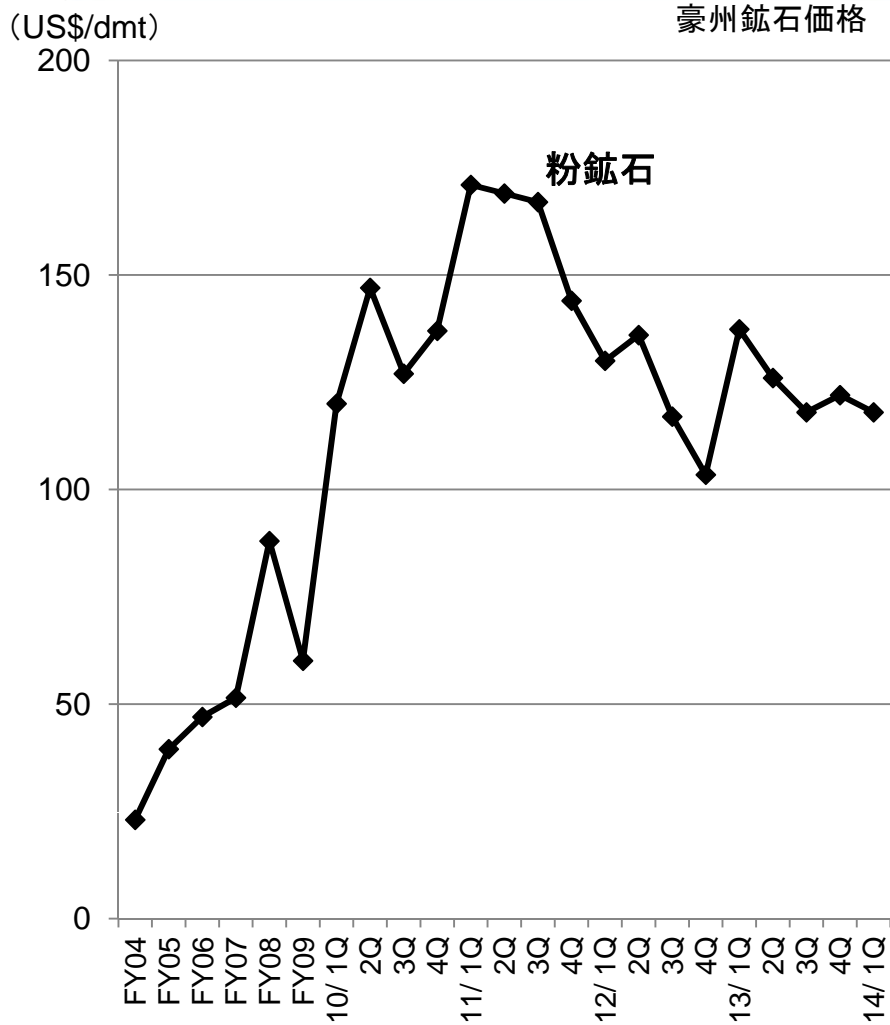


ときわ会(H形鋼)在庫

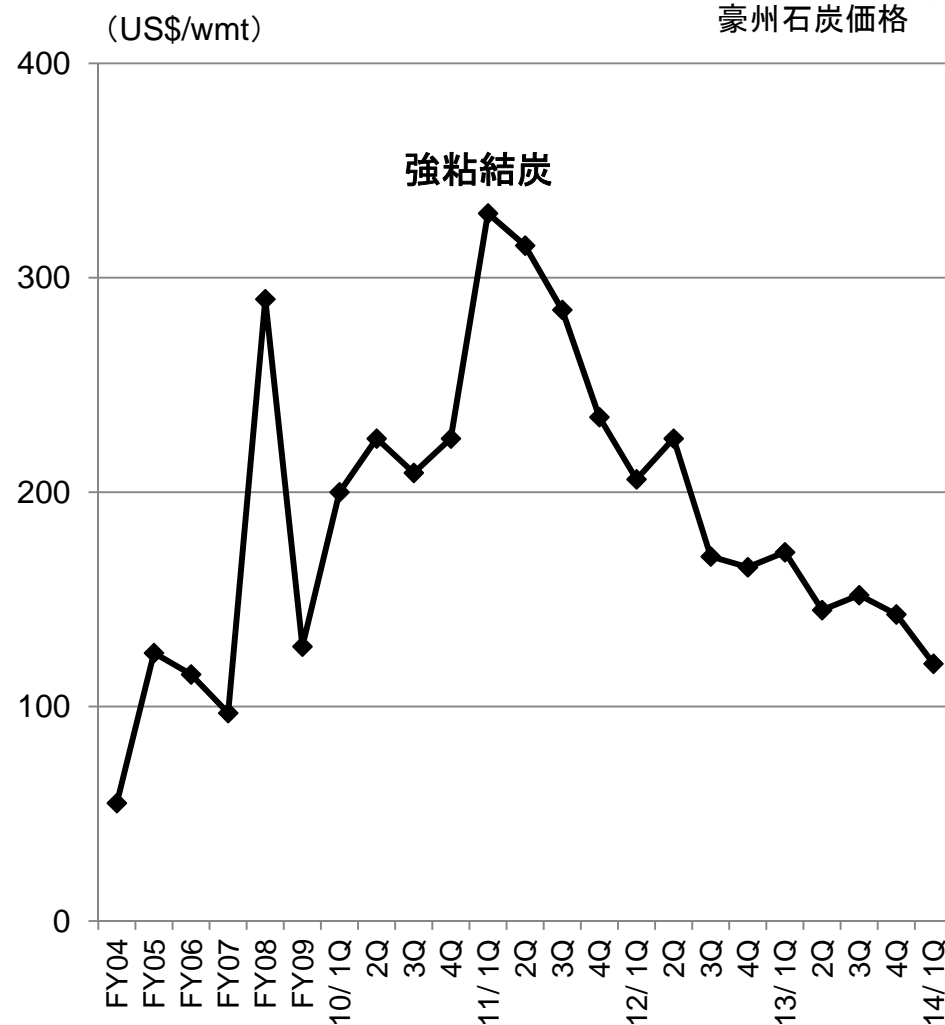


(出所: 日本鉄鋼連盟)

鉄鉱石

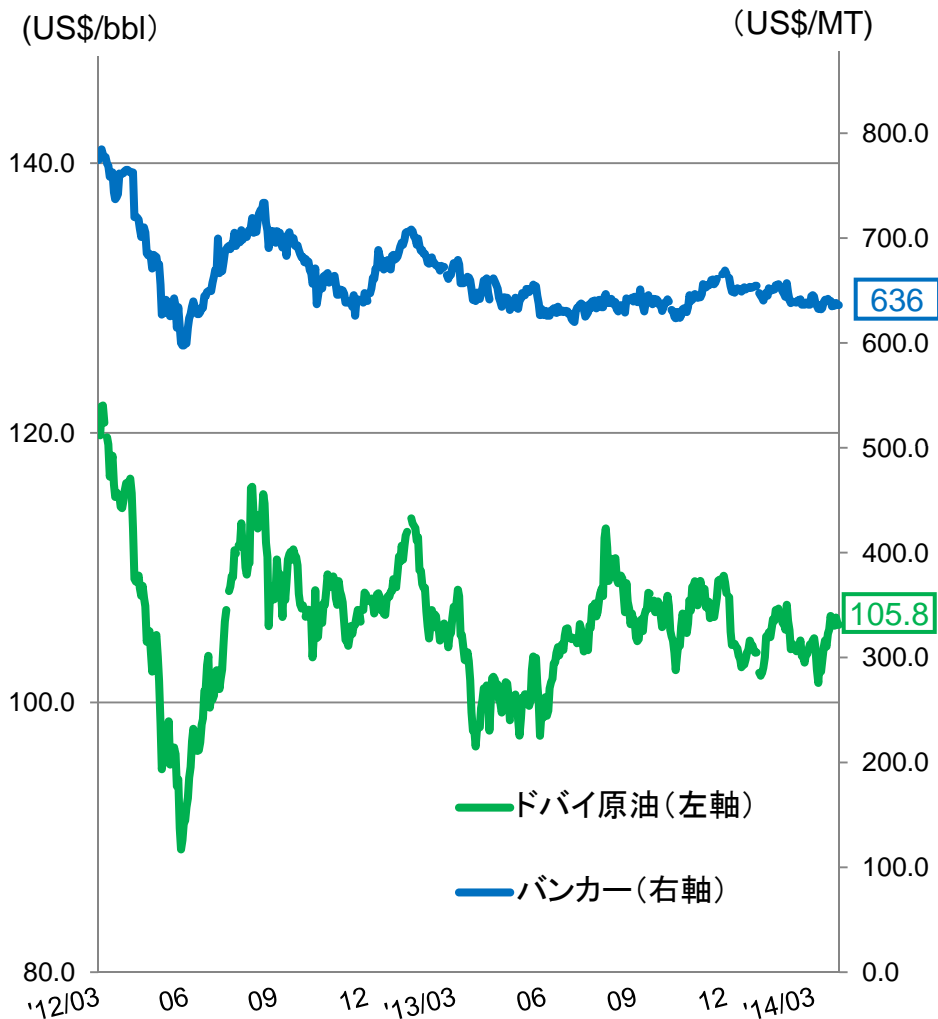


原料炭

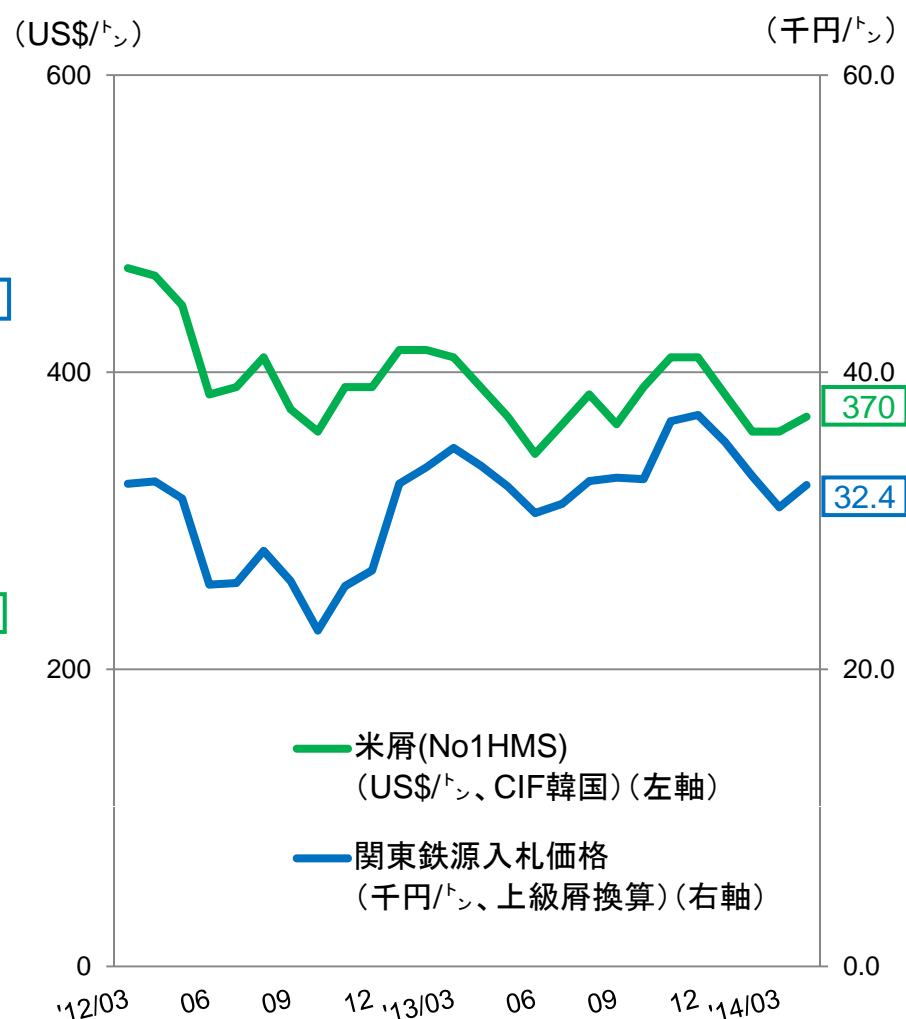


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



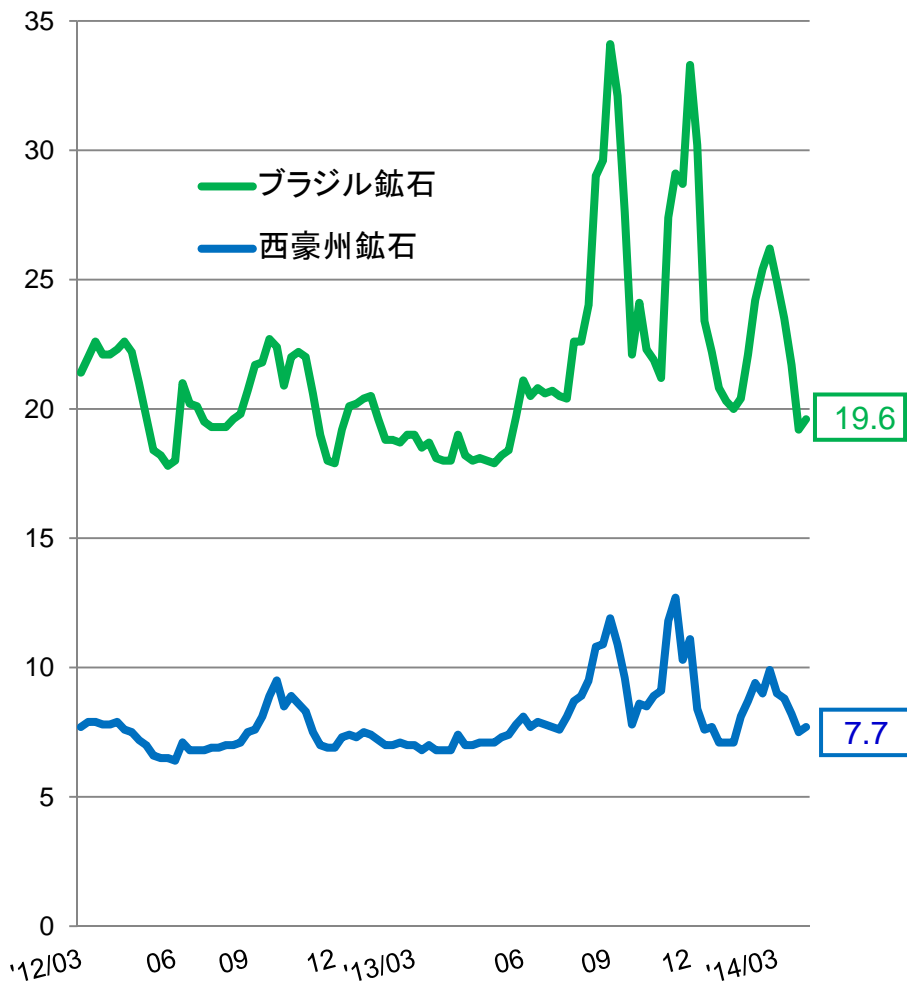
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

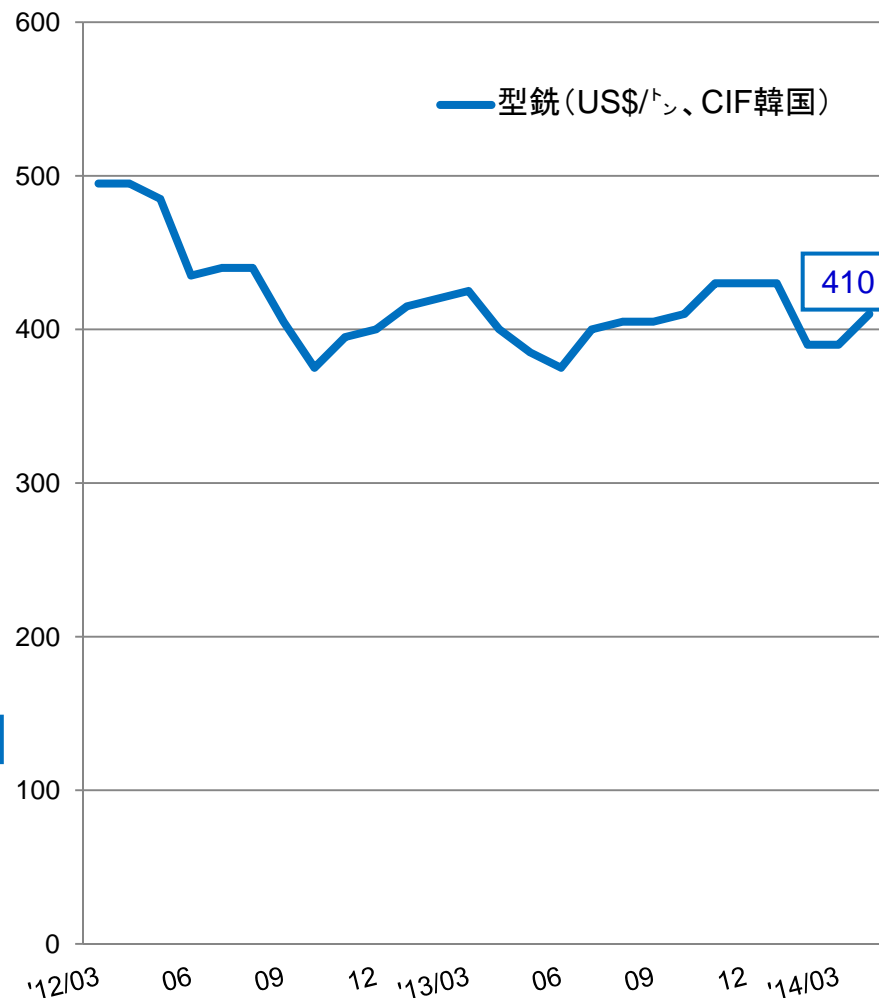
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

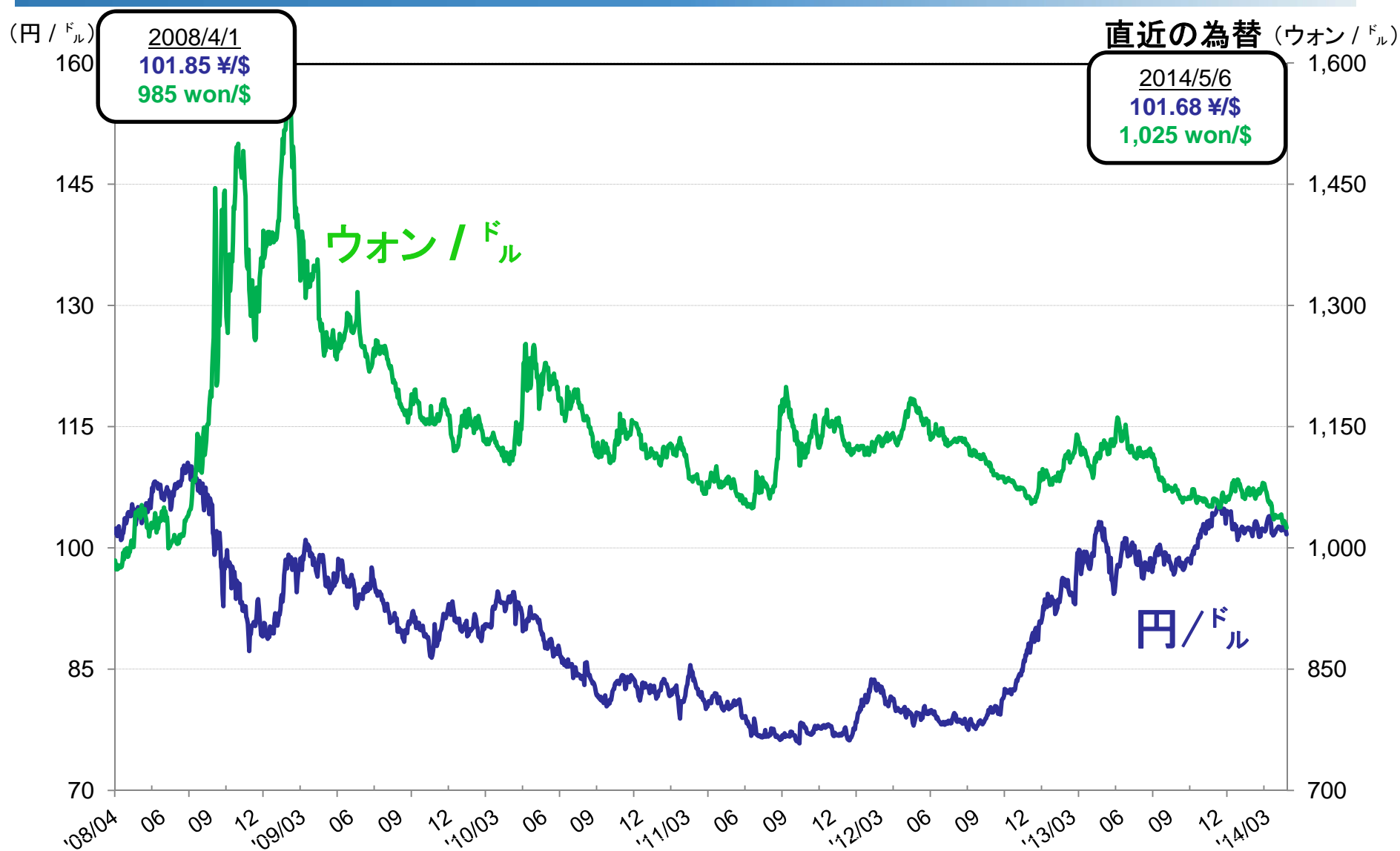


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



為替推移 (円/ドル, ウォン/ドル)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。